

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

平成27年9月9日

沖縄県立図書館協議会

〔評価〕

現在、県立図書館で行われている医療関係情報の充実やビジネス支援事業、その他移動図書館や一括貸出など、限られた職員体制のなかにながら種々の事業が展開され、その充実に努められてきた。

「基本指標」のうち、入館者数や貸出冊数については、前年度より少し減ってはいるが、レファレンス件数が増えていることは、県立図書館としての役割に特化してきたと捉えることができる。

問題はレファレンスの質だが、かなり前にはレベルの低い回答もあったと聞いているが、レファレンスの質を向上させるためにも、研修等の開催には今後も力を入れて行ってほしい。すでに、「沖縄県立図書館 レファレンス事例検索」において事例が蓄積・提供されており、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」へも多数の事例が提供され評価（表彰）がなされていることから、県立図書館のコレクションを活かしたレファレンスサービスが提供されていることは明らかである。今後は、利用者個人がインターネットにより得られる検索（探索）結果と司書との対面により得られた検索（探索）結果との違いについても、レファレンスサービスの効果として検証していくことが必要かと思われる。

また、県立図書館の使命・役割を考えた場合に、市町村立図書館に対する援助があり、「沖縄県立図書館の基本方針」においても市町村立図書館との連携・協力が謳われている。現在の評価指標では入館した人数の増減で評価しているが、たとえば、他の都道府県立図書館の入館者数と比較した場合に、その使命・役割を果たしている都道府県立図書館ほど入館者数が少ないと捉えることもできる。広域型図書館としての取り組みを評価するためにも、市町村ごとの貸出冊数等利用者の統計を活用し、その利用状況等についても分析する必要があると考える。それにより、広域型図書館としての取り組みや市町村支援の状況についても、検証を行うべきと思われる。

なお、県立図書館で行っている様々な事業については、より一層PRに努めることも必要である。たとえば、PTA関係団体等への広報チラシ等の提供や高等学校への出前講座等を利用して広報を行うことで、生涯学習の場としての県立図書館の役割を幅広く県民に対して知らせることができ、利活用するきっかけとなることが期待される。

現在の評価指標は、平成22年度の実績を基準に平成23年度～27年度までの5カ年の目標を掲げているが、以前とは異なる様々な取り組みや要望もあることから、平成28年度以降の新たな評価指標の策定については、「沖縄県立図書館の基本方針」に照らしながら十分な検討が必要である。

〔項目別達成度評価〕

1 基本指標

番号	提言事項	具体的な指標	評価	基本方針評価	
					評価
1	県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。	・ 入館者数	4	・ 入館者数、蔵書冊数等全ての指標で、目標値を上回った。入館者数・貸出冊数については、閉館日に様々なイベントを実施したこと等もあり（閉館日はシステムの関係で入館者数がカウントされない）前年度より、少し減少している。 レファレンス件数は目標を大きく上回っており、利用者の資料の活用に対する関心の高さが見受けられる。	4.5
2		・ 蔵書冊数	4		
3		・ 貸出冊数	5		
4		・ レファレンス件数	5		

2 個別指標

(1) 広域型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	WEBサイトの充実	ア	レファレンス事例の発信	・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数	3	3.0	・レファレンス事例のデータベースへの掲載は目標値を達成することができた。 ・HPリニューアル後チェックサイトによる評価点数の使用ができなくなっている。今後も情報発信を充実させるとともに、アクセシビリティについては留意していきたい。	4.0	・2つの努力点とも目標値を達成した。 ・WEBサイト等については、今後も様々な情報を積極的に発信し、図書館事業の周知に活用していきたい。
		オ	高度なアクセシビリティの確保（利便性の確保）	・ウェブアクセシビリティチェックサイトの評価点数	—				
②	市町村立図書館を通じたサービスの提供	ア	市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築	・市町村巡回車運搬冊数	5	5.0	・市町村巡回車運搬冊数は目標値を達成しており、利用者が相互貸借を順調に利用していると思われる。 ・一括貸出冊数は、目標値を達成することができた。 ・館外用図書の充実を図ったこともあり、貸出冊数が伸び、目標を達成した。	4.0	・H26年度から実施している離島等の住民が、各市町村教育委員会を通じて県立図書館の図書を利用できる協力貸出事業を継続するとともに、一括貸出については広報を充実し利用団体を増やすなど、図書館未設置町村等における読書活動への支援をより充実させていきたい。
		エ	離島や遠隔地の市町村立図書館との共同事業の実施	・一括貸出冊数	5				
				・移動図書館貸出冊数（開催回数）	5				

(2) 課題解決型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援	ア	市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施	・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数	5	5.0	・市町村立図書館職員の要望を取り入れた研修内容を実施することにより参加人数も増え、目標値を達成している。	4.4	・昨年度は図書館協会主催の講演会の中止等により一部目標を達成できなかったが、市町村立図書館職員への研修が好評であったことや子ども読書活動推進室の利用回数が大幅に増えたことが高く評価できる。今後もイベントの仕方を工夫したり、必要な研修等を実施したりすることで支援活動の充実を図っていきたい。
②	地域活性化へ向けた支援活動の充実	ア	子ども読書活動推進及び文字・活字文化の振興に関する市町村立図書館への情報提供と連携事業の実施	・「子ども読書活動推進室」の利用回数	5	3.7	・読書活動推進室の利用回数は昨年度の2倍と急激に増えており、読み聞かせボランティアや文庫連、子どもの本の研究会等活動団体との連携も深まった。今後も利用活用を促進する。 ・平成26年度のイベントについて、全て事前の予約が必要としたこともあり、参加人数は減っているが目標値は達成した。		
				・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数	5				
		コ	沖縄県図書館協会等との連携・協力	・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数	1		・講演会が台風の影響により開催できず、目標値を達成できなかった。		

(3) 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価		
							評価		評価	
①	郷土資料コレクションの形成	-	-	・郷土資料の受入冊数	1	・当初の目標値は宮古・八重山分館を含めた平均値となっており、本館のみの数値（7612冊）と比較すると目標値を達成している。	4.0			
②	郷土文化の保存と次世代への継承	ウ	デジタル化郷土資料の公開と文化事業の実施	・デジタル郷土資料の公開点数	3	・資料の修復点数、複製本作成冊数及びデジタル郷土資料の公開点数については、目標値を達成した。	4.3		4.2	
			イ	貴重資料保存計画（状態調査・修復・保存措置・複製）の策定	・修復点数					5
					・複製本作成冊数					5

(4) 電子図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	付加価値の高い情報発信	ア	デジタルコンテンツの作成・発信	・デジタル郷土資料の解説点数	3	・デジタル郷土資料の解説点数については、目標値を達成している。	3.0		4.0
②	ネットワークのセンター的機能構築の推進	ア	沖縄県図書館総合目録システムの機能充実と参加館の拡大	・総合目録システム参加館数	5	・沖縄女子短期大学が参加したことにより、1館増え、目標値を達成した。	5.0		

総合評価

<p>・入館者数、貸出冊数は減っているが、レファレンス件数は増えており、利用者の資料活用への要求は増えていることが推察される。</p> <p>・離島等住民がその町村の教育委員会等を通じて県立図書館の資料を貸し出す協力貸出を実施することにより、きめ細かなサービスの提供が可能となっている。今後は更に離島読書活動充実事業等を活用し、図書の購入を大幅に増やすことにより、離島住民への知識要求に応えていきたい。</p> <p>・郷土資料の修復、複製本作成など大きく目標を達成しており、今後も予算を工面し、貴重な郷土資料の保存・提供を図っていきたい。</p>	4.2
--	-----